

NNTD
1173

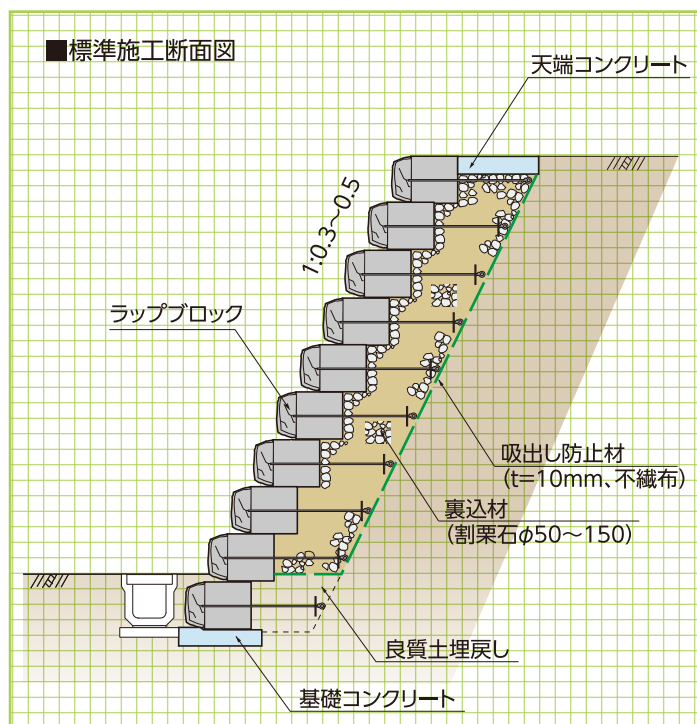
多段積工裏込材栗石タイプ 裏込材投入仕様

標準のタイプですが、下記のように裏込材に現場発生土が使用できない場合にも適用します。

- 現場発生土の確保が困難な場合
- 現場発生土の安定処理が困難な場合
- 背面地山からの湧水が予想される場合
- 緑化を行わない場合



※緑化を図る場合は、中詰め部に土砂安定シートを設置して現場発生土を充填します。

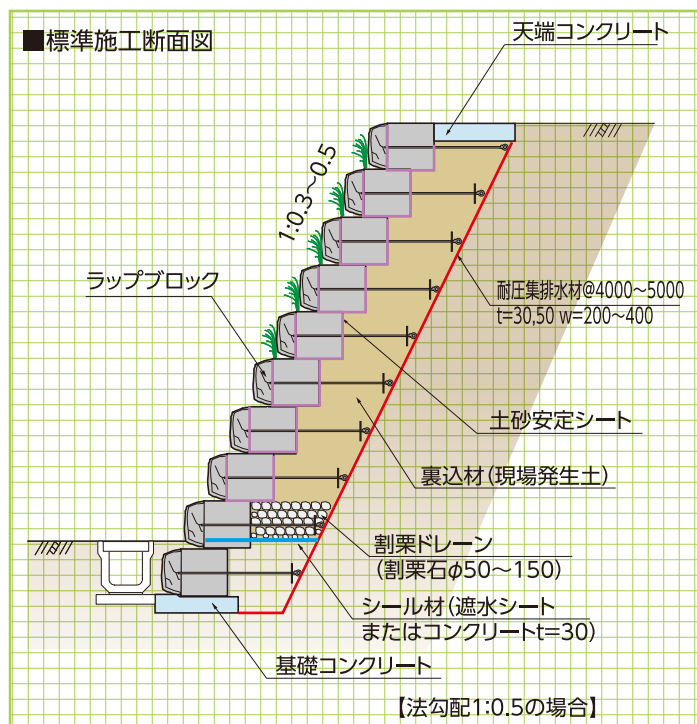


多段積工裏込材現場発生土タイプ 裏込材転圧・締固め仕様

裏込材に現場発生土を活用するタイプで、現場発生土をリサイクルすることができます。良質発生土(注1)を転圧し、締固めることにより、アンカー部材と裏込材が一体となり、壁体としての強度を発揮します。背面には、排水性を高めるために4~5mピッチで耐圧集排水材を設置します。



※裏込材には、再生砕石(C40~0)を使用することも可能。



規格・数量

規格	形状	参考重量	裏込材量(割栗石)	標準数量
600型	W2000×h250×b350 アンカー長L600、パネル口200	133kg/セット	0.539m ³ /m ²	1.79セット/m ²
900型	W2000×h250×b350 アンカー長L900、パネル口200	133kg/セット	0.807m ³ /m ²	1.79セット/m ²